

東日本大震災で「原発安全神話」は崩壊。

福島第1原子力発電所の事故は、いっこうに収束のめどがたたないまま、大量の放射能を出し続け、私たち市民のいのちと暮らしを脅かしています。

「妊婦や乳幼児への影響は?」「外出は控えたほうがいいの?」「関西にも放射能は届いているの?」たくさんの不安の声が出されています。

いま、繰り返されている「ただちに健康に影響はない」は本当なのか——ビキニ事件の真実と福島原発被災のいまを検証し、その答えを探ります。



①ビキニ、マクロ漁船員
②福島、防護服をまとった捜査員 (NHK・ETV特集より)
③ビキニ、水爆実験
④福島、放射能の拡がり

「ただちに健康に影響はない」は本当?

ビキニ事件の真実と 福島原発被災のいま

—軽視される低レベル放射線内部被曝を考える—

7月3日 13時~17時
龍谷大学
アバンティ響都ホール
(京都駅南徒歩2分・「アバンティ」9階)

報告1 DVD上映「ビキニ事件から見た福島原発被災」
伊東 英朗(南海放送ディレクター)

報告2 「封印されたビキニ事件と
情報コントロールされる福島原発被災」
高橋 博子(広島市立大学広島平和研究所講師)

報告3 「ビキニ事件の放射能汚染・晩発性障害と福島原発被災」
山下 正寿(高知県太平洋核実験被災支援センター事務局長)

報告4 「内部被曝隠しと安全神話
—被爆者切り捨てを再現させてはならない」
矢ヶ崎 克馬(琉球大学名誉教授)

コメンテーター 齊藤 忠臣(前広島平和文化センター理事長)

質疑応答(40分間)

進行 山根 和代(立命館大准教授)

この企画は高木仁三郎市民科学基金の助成をうけています。

連絡先: 高知県太平洋核実験被災支援センター

Tel・Fax 0880-66-1763 E-mail:masatosi.sky@orange.zero.jp

・非核の政府を求める京都の会

Tel・Fax:075-771-0729 E-mail:hikaku-kyoto@nifty.com

〒606-8397 京都市左京区聖護院川原町4-13 京都府教育会館別館

資料代500円

保育の用意あります
無料・1歳以上未就学
(裏面参照)

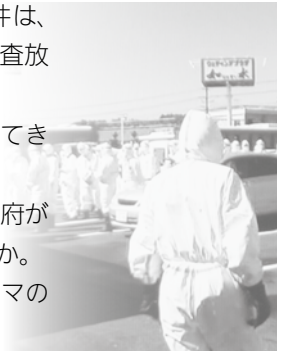
広

島、長崎、ビキニ…。私たちは過去から学ぶ必要があります。なかでもビキニ事件は、地球規模の放射性降下物(死の灰)汚染、延べ1000隻を超える漁船の乗組員の健康調査放置など、福島原発被災の今後に警鐘を鳴らす未解決の事件です。

日米政府は核の被害を小さく見せかけるために、低レベル放射線による内部被曝を軽視し続けてきました。東電と政府の説明は本当のことを伝えているのかを検証していきます。

「のんびり校庭も歩けない!」福島など被災地の子どもたちを苦しめる放射線。校庭利用はOKと政府が示した緩い年間被曝線量が問題になっています。もとなかった国際的な防護基準は正しいのでしょうか。

キーポイントは「内部被曝」。内部被曝による障害は半世紀以上も無視されてきたのです。フクシマの今後をこの側面から考えましょう。



講師プロフィール



伊東 英朗
南海放送ディレクター

2004年にビキニ水爆実験で被災したマグロ漁船員を取り上げたドキュメンタリー番組「わしも死の海におった」(初版)は、「地方の時代映像祭」でグランプリ、石橋湛山記念早稲田ジャーナリズム大賞を受賞。



高橋 博子
広島市立大学広島平和研究所講師

1993年同志社大学文学研究科修了、1995年～99年米国公立公文書館等でリサーチ、2002年広島市立大学広島平和研究所助教、現在、グローバルヒパクシャ研究会共同代表、広島平和記念資料館資料調査研究会委員、第五福竜丸展示館専門委員。著書『封印されたヒロシマ・ナガサキ米核実験と民間防衛計画』(凱風社、2008年)など。



山下 正寿
高知県太平洋核実験被災支援センター事務局長

1967年早稲田大学教育学部卒業、1969～98年高知県立高校社会科教員、1983年～幡多高校生ゼミナール顧問、ゼミナールは「地域の現代史調査を通じて平和と青春の生き方を見つめる」サークル活動で、1985年から地域のビキニ水爆実験被災船調査に取り組み、延べ1000隻を超える被災船を追跡調査。著書『もうひとつのビキニ事件』(平和文化、2004年)。



矢ヶ崎克馬
琉球大学名誉教授

1974年広島大学大学院了。理学博士。琉球大学で理学部教授、学生部長、理学部長等を歴任、2009年定年退職。原爆症認定集団訴訟で、「内部被曝」を証言。著書『隠された被曝』(新日本出版社、2004年)など。



斉藤 忠臣
前広島平和文化センター理事長

元朝日新聞論説委員、編集委員。前広島平和文化センター理事長。著書『核兵器廃絶への道』『裁かれる核』(ともに共著)など。



山根 和代
立命館大学准教授

「平和のための博物館国際ネットワーク」理事、「平和のための博物館市民ネットワーク」通信編集委員、著書『日本における草の根の平和博物館』(独のVDMで出版、英文、2009年)など。

●共催：高知県太平洋核実験被災支援センター、広島市立大学科研費基盤研究(C)「冷戦初期における米国核政策と被爆者・ヒパクシャ情報」、グローバルヒパクシャ研究会、核兵器廃絶ネットワーク京都、非核の政府を求める京都の会、アポリション2000京都、平和友の会、原水爆禁止京都協議会、京都宗教者平和協議会、平和のための京都の戦争展実行委員会、反核京都産業人の会、日本科学者会議京都支部、京都原水爆被災者懇談会、核戦争防止・核兵器廃絶を訴える京都医師の会

それって、なあに?

☢ ビキニ事件

1954年3月1日、太平洋のビキニ環礁でアメリカが水爆実験を行った。深さ66m、直径1.6kmのクレーターができ、吹き上げられた50万トンのサンゴ礁は「死の灰」となって世界中に降り注いだ。「死の灰」は、爆心から160km離れていた日本のマグロ延縄漁船にも降り注ぎ、乗組員の身体に付着し触んでゆき、多くの乗組員は肝機能障害などで若くして亡くなった。ビキニ環礁周辺で操業して被曝した、日本のマグロ漁船は、のべ1000隻を超えるといわれている。その漁船が積んでいたマグロは「原子マグロ」とよばれ、市民や漁業関係者に生活不安を与えた。

☢ 内部被曝

野菜に付着したり水に含まれたりした放射性物質を摂取することにより、身体の中で放射性原子から放射線が発射される被曝のこと。

☢ 半減期

放射能が半分になるまでかかる時間。ヨウ素131:8日間、セシウム137:30年、ストロンチウム90:30年、プルトニウム241:14年

☢ 放射線と放射能

放射性物質は放射線の発生源。生物に害を与えるのは放射線。放射性物質が放射線を発生する性質(能力)を放射能という。

☢ 晩発性障害

放射線はDNAを傷つけて、後年、癌などの障害となって現れる。ただしすべてが癌化するわけではない。長期間の調査、観察が重要。

保育の用意をしています

保育は無料ですが、満1歳以上で未就学児童を預かる準備をしています。6月末までに下記に申し込んでください。
電話：090-8983-0051 長谷川

龍谷大学アバンティ響都ホールアクセス

〒601-8003 京都市南区東九条西山王町31 アバンティ9階
※JR・地下鉄・近鉄京都駅から 南へ徒歩2分
※龍大ホール事務室 TEL:075-671-5670
※駐車場はアバンティビル地下2・3階

有料※普通車

AM9:00～PM9:00 30分250円
PM9:00～AM9:00 1時間100円

